

第15回 伝統的な要素技術を現代の技術へ・・・

木造建築の防耐火性能

日本の木造建築の歩みは、火災との戦いでもあった。

江戸時代以降、その歩みは、塗込め造りと瓦屋根造りの奨励を生み出した。現代では多くの場合、大壁の防火仕様の規定によりモルタルや不燃ボード類に覆われた建築へとつながっている。伝統的な木造建築にとって、建築基準法の防火に関する規定は年々ハードルの高いものになっていた。

しかし、2000年に改正の建築基準法の「性能規定」の考えにより、木造の防火に対しても性能で評価することで、例えば、準防火地域においても、外壁真壁造りや軒裏に木材の使用も可能になっている。

これらの動きの最前線で多くの貢献をされてきた安井さんに、これまでの研究成果や実践での応用などの話をうかがいながら、防耐火性能の観点からもこれからの木造建築の可能性を見出したいと考えている。



谷中の町屋

研究の成果を活用した防火設計手法により実現した準防火地域内での木造3階建て住宅（準耐火建築物）

【日 時】平成23年 9月3日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】中央工学校 17号館4階 (東京都北区王子本町一丁目26-17)

【講 師】安井 昇氏 桜設計集団 代表

【定 員】60名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO日本民家再生協会内 担当：金井)

TEL：03-5216-3541 FAX：03-5216-3542

Eメール：koremoku@e-mail.jp

【締 切】9月1日(木)

参加者1名ごとに、氏名、所属、電話、ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO伝統木構造の会
有限責任中間法人 日本曳家協会
NPO日本民家再生協会
NPO緑の列島ネットワーク



【交通】JR京浜東北線「王子駅」北口 または、地下鉄南北線「王子駅」より 徒歩5分

■講師プロフィール

安井 昇 氏 (桜設計集団 代表)



1968 京都市生まれ
 1993 東京理科大学理工学研究科修了,積水ハウス入社
 1998 積水ハウス退職
 1999 桜設計集団設立
 2004 早稲田大学理工学研究科博士課程修了,博士(工学)号取得
 現在 桜設計集団 代表
 早稲田大学理工学研究所 客員研究員、東京都市大学 非常勤講師、岐阜県立森林文化アカデミー 非常勤講師、NPO 木の建築フォーラム 理事
 専門 木造設計 木造防火

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第15回 伝統的な要素技術を現代の技術へ・・・

木造建築の防耐火性能 に参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
③	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

FAX 03-5216-3542

